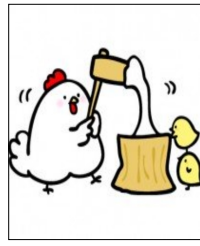


若い瞳

うるま市立
平敷屋小学校
幼稚園
発行
校長・園長
高良 孝 志

新年



平成29年と平成28年度の最後の学期がスタートしました。旧年中は保護者・地域の皆様に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。始業式の日には、子どもたちが新年の

希望や3学期の目標を胸に元氣よく登校してきました。3学期もまた1日1日を大切に過ごし、多くを学び身に付けてくれるものと思います。

本年も子どもたちの健やかな成長を目指し、職員一同力を合わせ取り組みますので、皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。

今子どもたちは、実に豊かな生活の上

自立

で暮らしています。食べ物も遊ぶ物も子どもたちの周りには山ほどあります。お金をかせば何でも買うことが出来ます。こんなに豊かになつたのに子どもたちの心には、なんだか不満ばかりたまっているようです。

豊かであれば心も広がり人とのつながりができてよさそうなのに、キレイたり無視したり人とのつながりは、むしろ薄れてきてコミュニケーションはうまく出来なくなっています。

物が少なく貧しい時代ならいざ知らず、どうしてこのような事が起こるのでしょか。

子どもたちはあと10年前後もすれば、自立した大人になつて社会に出て行くことが求められます。

その時社会のルールに従ったり、周りの人たちの気持ちを考え、周りに合わせることも求められたりする時があります。

そうしながら自分の主張をしつかりとしていくことが社会人ということなのだと思ひます。

学校はその準備期間で、そのための訓練がやはり必要です。学級の集団で何かを

したりあるいはグループで何かを決めたりすることはその大事な練習です。しっかりと話し合いみんな

で決めたことについては、それに従ってやってみる、我慢するというのが大切なのです。ところが、本土の学校では「うちの子が嫌だということが無理にさせないで」とか「〇〇ちゃんを嫌がっているの

で一緒に席にしないで」とか、子どもへの応援で学校にお願いに来る親御さんがいるようです。

これで子どもたちは、本当に良いのでしょうか。嫌いな人とは話をせず、給食で嫌いな物があれば

一切食べない。子どもたちの生活は、豊かな生活の中で負の側面が出てしまっているのです。これでは人とのコミュニケーションはありません。子どもたちの生活を「自立」という視点でもう一度見直してみることも大切なことだと思います。

四年生

本校の四年生はとも元気があり、挨拶も上手です。

二期の学習発表会でも「ヒュードロンお化け学校」を頑張って演じてくれました。学習では極や鏡など200の新出

漢字を習います算数では億や兆の単位や概数や四捨五入などを習得します。今は、四年生のまとめを頑張っています。

書き初め

一月六日3・4校時に書き初め会を実施しました。

1・2年生は教室で3・6年生は体育館で行いました。たくさん地域ボランティアの皆さんが指導や激励に来ていただき、他校にはないステキな書き初め会となりました。感謝。



学校の仕組み⑨ 教務主任

学校には教務主任という役職がある。校長が教諭の中から任命をする。

本校では上原先生が授業を持ちながら教務主任の仕事をおこなっている。教務主任の仕事は、

「学校教育法施行規則第22条の3項」に「教務主任は、校長の監督を受け、教育計画の立案その他

の教務に関する事項について連絡調整及び指導、助言に当たる」とある。

新年度の教育計画の立案とは、校長の方針を受けて教育計画の指針を作成、各教諭が具体的に作成すると言う最も大事な仕事である。

大まかに言うと、P(計画) D(実践) C(評価) A(評価結果を生かす方向性) 次年度の教育課程へ

反映までが主たる任務で、学校現場での心臓部にあたるといえる。他にも企画委員会の進行、職員会議の提案まとめ、補充時間割の職員配置計画等、教育課程を熟知しなないと

できない。



いじめ基本方針

本校には平成25年1月に策定した、「いじめ基本方針」があります。一学期、学校説明会で学校長より内容説明も行いました。次年度は学校ホームページでも掲載予定です。学校ではいじめ問題に対して、毎月のアンケートや児童からの訴えによる確認を行いながら担任や学年で対応し、「きずなルーム」での養護教諭や市相談員等と児童や保護者との相談ができるようにしています。2月には、次年度に向けての「いじめ基本方針」の改定会議を行う予定です。より実行性、効果性のある方針への改定を行います。特別活動・道徳や普通の学級経営の中で、いじめについての指導も継続をしていきます。いじめで多いのが「人を傷つける言葉」です。言葉の使いかたの大切さを全校で確認をしながら、いじめのない平敷屋小学校を目指します。